

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 09137788
PUBLICATION DATE : 27-05-97

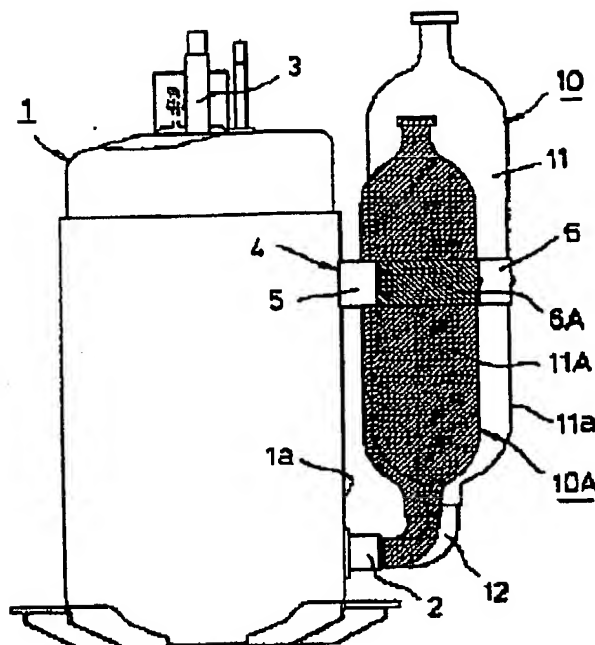
APPLICATION DATE : 14-11-95
APPLICATION NUMBER : 07318526

APPLICANT : SANYO ELECTRIC CO LTD;

INVENTOR : SHISHIDO TSUTOMU;

INT.CL. : F04C 29/00

TITLE : HERMETIC TYPE ROTARY COMPRESSOR



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To improve general purpose usability to an existing model without increasing the number of models.

SOLUTION: A fixing member 4 to install an accumulator 10 on an outside part 1a of a compressor main body 1 is formed of a bracket 5 fixed on the side of the compressor main body 1 and free to make contact with and support by adapting itself to an outer diametrical shape of a cylindrical container 11 forming drum parts of various kinds of the accumulators 10 and a band 6 to fasten and fix a drum part outer peripheral side surface 11a of the accumulator 10 as well as installed on this bracket 5 free to connect and disconnect to and from it. The band 6 of this fixing member 4 is formed free to exchange in accordance with a drum part outer peripheral shape of various kinds of the accumulators 10.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

DOCUSHAPE

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-137788

(43) 公開日 平成9年(1997)5月27日

(51) Int.Cl.⁶

F 0 4 C 29/00

識別記号

庁内整理番号

F I

F 0 4 C 29/00

技術表示箇所

L

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-318526
(22) 出願日 平成7年(1995)11月14日

(71) 出願人 000001889
三洋電機株式会社
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
(72) 発明者 池田 満男
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内
(72) 発明者 宇都宮 恭彦
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内
(72) 発明者 宮田 真由美
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内
(74) 代理人 弁理士 秋元 輝雄

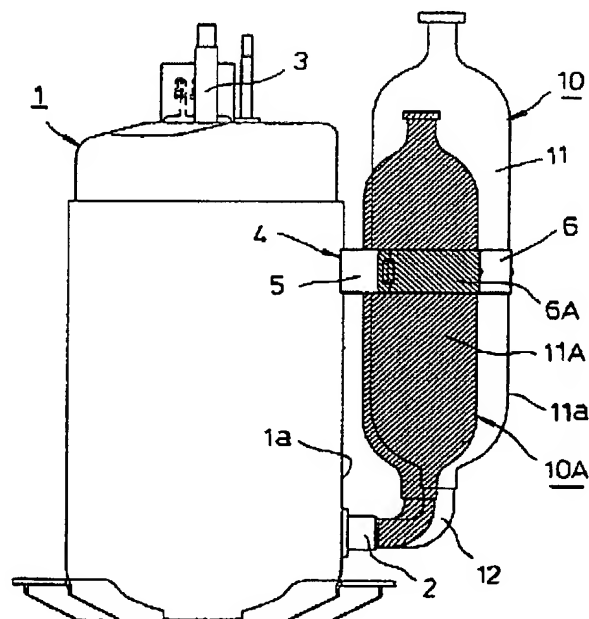
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 密閉型回転圧縮機

(57) 【要約】

【課題】 モデル数の増やすことなく既存のモデルへの汎用性を高める。

【解決手段】 圧縮機本体1の外側部1aにアキュムレータ10を取り付ける固定部材4を、圧縮機本体1側に固定されて各種のアキュムレータ10の胴部を形成する円筒状容器11の外径形状に適應して当接支持可能なブラケット5と、このブラケット5に着脱可能に取付けられてアキュムレータ10の胴部外周側面11aを締付け固定するバンド6とで形成する。この固定部材4のバンド6を各種のアキュムレータ10の胴部外径形状に應じて取換え可能に形成する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】圧縮機本体の外側部に円筒状容器からなるアキュムレータを固定部材を介して取付けてなる密閉型回転圧縮機において、前記固定部材は、前記圧縮機本体側に固定されて各種のアキュムレータの胴部外径形状に適應して当接支持可能なブラケットと、このブラケットに着脱可能に取付けられて前記アキュムレータの胴部外周側面を締付け固定するバンドとで形成したことを特徴とする密閉型回転圧縮機。

【請求項2】固定部材のバンドを各種のアキュムレータの胴部外径形状に応じて取換え可能に形成したことを特徴とする請求項1に記載の密閉型回転圧縮機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、例えば空調機器、冷凍庫あるいは冷蔵庫等に搭載される密閉型回転圧縮機に関し、特に、圧縮機本体の外側部に取付けられるアキュムレータ（気液分離装置）の取付手段に工夫を施すことにより、モデル数の増やすことなく既存のモデルへの汎用性を高めるようにしたものである。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の密閉型回転圧縮機においては、圧縮機本体の外側部に円筒状容器からなるアキュムレータを取り付けてなる構成を有するものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来、圧縮機本体の設計は、ユニット仕様によってアキュムレータを形成する円筒状容器の長さを調整することにより処置しているものであるが、圧縮機本体のサイズでアキュムレータの取付け高さに制約が生じる。

【0004】そこで、従来では、このような圧縮機本体のサイズによるアキュムレータの取付け高さの制約を解消するために、アキュムレータを形成する円筒状容器の径をユニット仕様によって可変することにより行なわれているのが現状である。

【0005】しかも、圧縮機本体の外側部にアキュムレータを取り付ける場合、予め固定部材としてのブラケットを圧縮機本体の外側部に溶接により固定してなるとともに、このブラケットを各種アキュムレータを形成する円筒状容器の胴部外径形状に応じて固定しているために、同一出力のモデルでも、アキュムレータの胴部外径によって異なるブラケットが必要となっており、新規モデルとして設計することになり、これによって、モデル数が増え、在庫管理が面倒になるばかりでなく、ブラケットの種類も増えるために、コスト高になるという問題があった。

【0006】この発明の目的は、モデル数の増やすことなく既存のモデルへの汎用性を高めることができるようにした密閉型回転圧縮機を提供することにある。

【0007】

2

【課題を解決するための手段】上記した課題を解決するために、この発明は、圧縮機本体の外側部に円筒状容器からなるアキュムレータを固定部材を介して取付けてなる密閉型回転圧縮機において、前記固定部材は、前記圧縮機本体側に固定されて各種のアキュムレータの胴部外径形状に適應して当接支持可能なブラケットと、このブラケットに着脱可能に取付けられて前記アキュムレータの胴部外周側面を締付け固定するバンドとで形成してなる構成としたもので、この場合、前記バンドは、各種のアキュムレータの胴部外径形状に応じて取換え可能に形成してなるものである。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明すると、図1及び図2はこの発明に係る密閉型回転圧縮機の第1の実施の形態を概略的に示すもので、図1に示すように、図中1は圧縮機本体である。

【0009】この圧縮機本体1は、その下部に設けた吸入配管2から吸入される冷媒ガスを圧縮し、この圧縮された冷媒ガスを上部に設けた吐出配管3から吐出させる構成を有する。

【0010】そして、前記圧縮機本体1の外側部1aには、外部付属装置としてのアキュムレータ10が取り付けられていて、このアキュムレータ10は、胴部を形成する円筒状容器11からなり、この円筒状容器11の下部に設けた排出口12を前記吸入配管2に溶接等にて接続することにより、前記圧縮機本体1内に吸入される冷媒ガスを気液分離させるようになっているものである。

【0011】また、図中4は前記アキュムレータ10を固定する固定部材で、この固定部材4は、図2に示すように、前記圧縮機本体1の外側部1aに溶接にて固定されるブラケット5と、このブラケット5に取り付けられるバンド6とから構成されるとともに、前記ブラケット5は、固定片部5aと、この固定片部5aの左右両端から外方に向け折曲された支持片部5b、5bと、これら支持片部5b、5bの端部に外方に向け折曲された取付片部5c、5cとで形成され、前記支持片部5b、5b間には、前記アキュムレータ10の胴部を形成する円筒状容器11の外周側面11aが当接支持可能になっている。

【0012】一方、前記バンド6は、その一端部6aを前記ブラケット5の一方の取付片部5cに引っ掛け係止し、かつ、その他端部6bを、前記ブラケット5の他方の取付片部5cにビス7にて締結して着脱自在に取り付けることにより、前記アキュムレータ10の胴部を形成する円筒状容器11の外周側面11aを横掛け状態にて締め付け、これらブラケット5とバンド6とによって前記アキュムレータ10を固定するようになっている。

50

【0013】すなわち、前記圧縮機本体1の外側部1aに溶接にて固定されるブラケット5は、前記アキュムレータ10の胴部を形成する各種円筒状容器11の外径形状に適応するように共用可能な形状をなす一方、前記バンド6は、各種のアキュムレータ10の胴部を形成する円筒状容器11の外径形状に応じて形成され、これによって、図1及び図2に第2の実施の形態として斜線で示すように、例えば小径な円筒状容器11Aからなる異なる機種のアキュムレータ10Aを取り付ける場合には、アキュムレータ10Aの胴部を形成する円筒状容器11Aの外径形状に応じたバンド6Aに取換えるだけで、各種のアキュムレータ10の取付けが容易に行なえるようにしてなるものである。

【0014】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、この発明は、圧縮機本体の外側部に円筒状容器からなるアキュムレータを取り付ける固定部材を、圧縮機本体側に固定されて各種のアキュムレータの胴部外径形状に適応して当接可能なブラケットと、このブラケットに着脱可能に取付けられてアキュムレータの胴部外周側面を締め付け固定するバンドとで形成してなることから、ブラケットが各種のアキュムレータの胴部外径形状に共用させることができるために、バンドを各種のアキュムレ*

*ータの胴部外径形状に応じて取換えるだけで、圧縮機本体の外側部への各種のアキュムレータの取付けを容易に行なうことができ、これによって、モデル数の増やすことなく既存のモデルへの汎用性を高めることができ、在庫管理の簡便化を図ることができるとともに、従前のようなブラケットの種類の増加によるコスト高を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

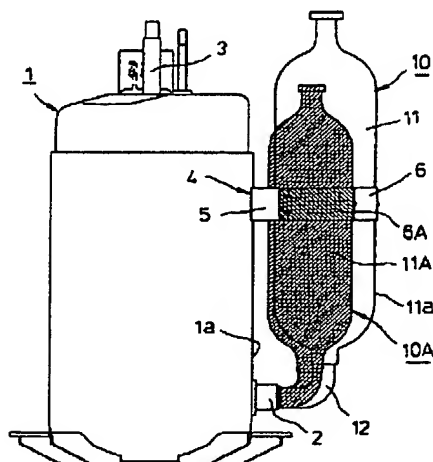
【図1】 この発明に係る密閉型回転圧縮機の実施の形態の全体構成を概略的に示す説明図。

【図2】 同じく平面図。

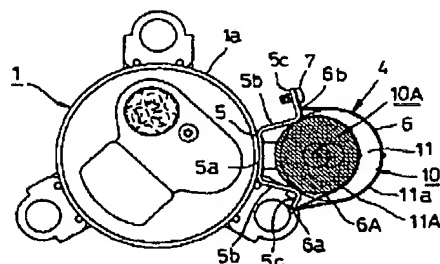
【符号の説明】

- 1・・・圧縮機本体、
- 1a・・・外側部、
- 4・・・固定部材、
- 5・・・ブラケット、
- 6・・・バンド、
- 6a, 6b・・・両端部、
- 7・・・ビス、
- 10・・・アキュムレータ、
- 11・・・円筒状容器、
- 11a・・・外周側面。

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(72)発明者 末吉 光志
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内

(72)発明者 宍戸 勉
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内